

# JA 静岡市 3 か年計画

～新時代への挑戦～

令和 2 年度～令和 4 年度



いふくろう



ちえふくろう



ふくふくろう

令和 2 年 6 月

静岡市農業協同組合

## 経営理念（めざす姿）

私たち J A 静岡市は、

1. 農の豊かさを次世代に伝えます。
2. 暮らしの豊かさを組合員・地域住民に提供します。
3. 心の豊かさを地域とともに育みます。

## 経営方針

J A 静岡市は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則に基づき行動すると共に、農業と地域社会に根ざした組織として社会的役割を誠実に果すことを使命とします。

## 基本方針

今回の3か年計画は、新たな長期ビジョンとして定めた「10年後の現実像」を実現するため、第1期目を策定しました。

信用事業・共済事業の収支が将来非常に厳しいと予想される中、これまでの「信用・共済事業の収益を営農経済事業に向ける」というビジネススタイルの維持が困難になります。J Aは農業者のための協同組合であるという原点に立ち返り、今後も自己改革を継続し、経済事業の改革とあわせて担い手の育成・確保、基盤整備、販売機能強化などを最優先に農業振興へ真摯に取り組んでいきます。

J A 静岡市は、「持続可能な地域農業・J A 経営の確立」を目指し、次の2つを重点課題として「10年後の現実像」と位置付けます。

なお、「10年後の現実像」の策定については、「農業」「事業」「組織」「経営」の切り口で、その方向性、到達水準を整理しました。

- ①農業生産の拡大（現状の10%アップ 46億円の販売高の実現）
- ②経営環境に対応した事業・経営の転換（事業利益1億円以上の確保）

私たち J A 静岡市は、10年後のあるべき姿の実現に向け、3か年計画を確実に実践することで、農業経営の安定と地域農業のさらなる振興を図り、組合員や地域住民との事業活動を通じて、「農の豊かさ」「暮らしの豊かさ」「心の豊かさ」を次世代へ繋げていくことをめざします。



## 組合員・JAを取り巻く情勢

令和元年度末の組合員数は、27,358人で年々増加しています。正組合員数は9,104人と令和元年度の正組合員確保運動の取り組みにより前年に比べ若干増加していますが、平成21年度から約1割減少し、准組合員数は18,254人と1.2倍に増加しています。構成比でも准組合員が3分の2を占めており、今後も准組合員の増加が予想されます。青壮年部・女性部の部員も、10年前と比べると大きく減少しています。じまん市出荷会員は、平成25年のしづはたじまん市オープン以降、徐々に増加しているものの、その他生産部会の会員数は年を追うごとに減少しており、茶業委員会会員数については、10年前と比べ半減しています。また、少子高齢化に伴う人口減少とともに農家組合員も高齢化がさらに進行し、後継者（担い手）の不足が深刻化しています。同時に、耕作放棄地も増加しており、基幹作物であるお茶の消費減少及び価格低迷による生産意欲の低下など、厳しい情勢となっています。

(単位：人)

事業年度	平成21年	平成26年	平成30年	令和元年 (対H21年)
正組合員	10,061	9,387	9,071	9,104 (90.4%)
准組合員	15,115	17,046	17,950	18,254 (120.7%)
青壮年部員	125	117	97	85 (68.0%)
女性部員	2,021	1,970	1,716	1,453 (71.8%)
茶業委員会員	3,474	3,028	1,751	1,677 (48.2%)
柑橘委員会員	254	223	228	170 (66.9%)
いちご委員会員	170	128	110	105 (61.7%)
じまん市出荷会員(延べ人数)	1,877	2,328	2,471	2,487 (132.4%)

## JA財務の状況

信用事業は、日銀マイナス金利の影響や貸出金利回り低下等による利ザヤの縮小が続く減益傾向となっています。共済事業も長期共済保有高の減少が続く、仕組み改訂年度では回復がみられるものの、減益傾向にあります。購買事業・販売事業は、取扱高の減少と同様に減益となっています。また、財務状況を示す事業総利益・事業利益・経常利益は、減益が続いており、事業管理費が削減されても事業総利益の減少がそれを上回る傾向となっています。なお、令和元年度の事業総利益・事業利益・経常利益については、会計基準の変更により、貸倒引当金357百万円を戻入れたことから増益となっています。

(単位：百万円)

事業年度		平成21年	平成26年	平成30年	令和元年 (対H21年)
事業	信用事業総利益	3,316	3,149	2,930	3,217 (97.0%)
	共済事業総利益	1,485	1,310	1,423	1,359 (91.5%)
	購買事業総利益	522	373	286	251 (48.0%)
	販売事業総利益	290	278	260	256 (88.2%)
財務	事業総利益	5,688	5,198	4,987	5,175 (90.9%)
	事業利益	343	147	109	480 (139.9%)
	経常利益	524	359	381	693 (132.2%)

# 10年後の現実像（全体像）

## 持続可能な地域農業・JA経営の確立

### ① 農業生産の拡大

（現状の10%アップ 46億円の販売高の実現）

#### 農業

～農業振興目標・  
農業振興策～

**販売高 46億円**

担い手確保  
園芸産地化  
基盤整備  
生産部会強化  
販売機能強化

#### 事業

～JAの事業～  
生産拡大のための  
事業展開

・生産拡大にむけた  
営農、販売、購買  
等の取り組み

**経営環境に対応した  
事業の展開**

・金融、共済、開  
発、販売、購買、  
営農指導事業の合  
理化・再構築、新  
戦略の取り組み

#### 組織

～組合員組織～

**正組合員**

JA運営への意思  
反映

**准組合員**

農業・地域を共に  
支える組合員

#### 経営

～経営基盤～

金融・共済で求めら  
れる経営水準と農  
業振興への適正な  
投資の確保

各事業利益段階で  
の黒字化、事業管理  
費の抑制、要員管理  
（店舗・要員の再配  
置）

### ② 経営環境に対応した事業・経営の転換

（事業利益1億円以上の確保）

## 3か年計画 概要

1. 名 称 「JA静岡市3か年計画～新時代への挑戦～」
2. 実施年度 令和2年度～令和4年度
3. 基本目標・重点目標

### 農業生産の拡大

#### 基本目標1 生産の拡大に直結する農業振興を行います

- ・重点目標1 担い手の育成・確保、労働力の確保
- ・重点目標2 施設園芸振興
- ・重点目標3 基盤整備
- ・重点目標4 生産部会強化
- ・重点目標5 販売機能強化

#### 基本目標2 JA事業で生産拡大を強力に後押しします

- ・重点目標1 経済事業強化
- ・重点目標2 営農・販売・購買の連携
- ・重点目標3 生産拡大を後押しする人材教育・広報活動

#### 基本目標3 生産拡大を応援する組合員を育成します

- ・重点目標1 准組合員との関係強化

#### 基本目標4 新時代に対応した事業改革を行います

- ・重点目標1 10年先の経営環境に対応した信用事業改革
- ・重点目標2 10年先の経営環境に対応した共済事業改革
- ・重点目標3 開発事業改革
- ・重点目標4 経済事業改革

#### 基本目標5 組合員の意思反映に基づく組合運営を図ります

- ・重点目標1 多様化している組合員への対応強化

#### 基本目標6 持続可能な経営基盤を確立します

- ・重点目標1 新時代に対応した店舗体制の構築
- ・重点目標2 適正な要員配置
- ・重点目標3 物件費の抑制

### 経営環境に対応した事業・経営の転換

# 基本目標・重点目標・施策

## 基本目標 1：生産の拡大に直結する農業振興を行います

### 重点目標 1 担い手の育成・確保、労働力の確保

①就農者受入れ体制を整備し、多様な新規就農者を確保・育成し、産地の生産力を維持します

- ・新規就農者、親元就農者、定年帰農者等、多様な就農者を支援

### 重点目標 2 施設園芸振興

①生産性が高く、環境制御による効率的栽培が可能な施設園芸を拡大し経営安定を図ります

- ・リース事業の開始による農業施設、農業機械の貸し出し

### 重点目標 3 基盤整備

①作業効率を高めるため、担い手への農地集積と基盤整備を図り、経営安定と持続的農業を実現します

- ・中間管理機構関連事業の活用により農業者の費用負担によらず基盤整備を推進
- ・優良農地の確保及び機械化による作業効率向上

### 重点目標 4 生産部会強化

①生産部会の機能を活性化し、産地維持が可能な生産規模（会員・面積・生産量）を確保します

- ・部会ごとの産地強化計画（産地承継対策、産地ブランド強化等）の実践

### 重点目標 5 販売機能強化

①販売センターによる販路拡大

- ・営業力強化、物流体制の整備、パッキングセンターの設立

②じまん市販売の強化

- ・新規出荷者の育成、品揃えの充実、重点作物の策定と栽培指導

③静岡茶（本山茶）の品質特徴をアピールした商品販売強化

## **基本目標 2 : J A 事業で生産拡大を強力に後押しします**

### **重点目標 1 経済事業強化**

- ① 営農指導との連携により購買品の充実を図る
  - ・ 購買スペシャリストの育成、栽培作物に合った品揃え

### **重点目標 2 営農・販売・購買の連携**

- ① 関連部署間の濃密な連携によって情報共有を図り、業務効率化と適切な生産者指導を図る
  - ・ 営農、販売、購買データ管理の一元化、スペシャリスト育成

### **重点目標 3 生産拡大を後押しする人材教育・広報活動**

- ① 農畜産物の生産現場や J A の農業振興の取り組みを伝え、生産拡大につなげる
  - ・ 地域住民への情報発信、役職員間の情報共有

## **基本目標 3 : 生産拡大を応援する組合員を育成します**

### **重点目標 1 准組合員との関係強化**

- ① 准組合員の農業生産と販売支援
  - ・ 准組合員の作物栽培やじまん市等への出荷支援

## 基本目標 4：新時代に対応した事業改革を行います

### 重点目標 1 10年先の経営環境に対応した信用事業改革

- ①組合員・利用者一人ひとりのライフプランをサポートします
  - ・ライフイベントに適した金融商品、サービスの提案
  - ・提案型推進への取組み
- ②貸出の強化
  - ・資金ニーズへの対応力強化

### 重点目標 2 10年先の経営環境に対応した共済事業改革

- ①組合員・利用者と次世代層に対して最良のサービスと安心・信頼を提供する
- ②永続的な保障提供に向けた効率化の追求と健全性の強化

### 重点目標 3 開発事業改革

- ①各種相談対応の構築及び地域開発計画への関わりを持てる体制づくり
  - ・不動産、税務、法務、相続等の相談体制の構築

### 重点目標 4 経済事業改革

- ①生産資材のコスト削減による予約率の向上
  - ・取扱品目集約
  - ・予約定着化による生産資材の価格引き下げ

## 基本目標 5：組合員の意思反映の基づく組合運営を図ります

### 重点目標 1 多様化している組合員への対応強化

- ①准組合員の意思反映の仕組みの検討
  - ・新たなふれあい座談会、新規組合員向け研修会の開催



## 基本目標 6 : 持続可能な経営基盤を確立します

### 重点目標 1 新時代に対応した店舗体制の構築

#### ①安定した J A 経営の確保

- ・ 経営基盤の効率化、合理化と店舗再編整備の検討

### 重点目標 2 適正な要員配置

#### ①要員管理の徹底 人事制度の検討

- ・ 要員配置の適正化
- ・ 職員の能力、労働意欲向上のための人材教育の実施

### 重点目標 3 物件費の抑制

#### ① J A 経営の健全性の維持

- ・ 計画的な設備投資
- ・ 既存施設の有効活用



## 数値計画

### 事業量計画

(単位：百万円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貯金	391,910	393,336	396,406
貸出金	118,962	114,732	114,848
長期共済保有高	886,000	873,000	860,000
長期共済新契約	95,000	92,500	90,000
購買品供給高	2,337	2,302	2,274
販売品販売・取扱高	4,321	4,186	4,241
加工事業販売高	245	266	276
開発事業取扱高	1,133	1,200	1,225

### 収支計画

(単位：百万円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業総利益	4,472	4,333	4,239
（信用）	2,550	2,409	2,290
（共済）	1,280	1,260	1,260
（購買）	298	306	319
（販売）	275	268	274
（加工）	39	40	41
（開発）	86	88	90
（利用）	8	9	10
（その他）	▲15	▲18	▲16
（指導支出）	▲49	▲28	▲28
事業管理費	4,412	4,283	4,189
（人件費）	3,030	2,943	2,876
事業利益	60	50	50
事業外損益	217	222	222
経常利益	277	272	272
特別損益	▲18	0	0
税引き前当期利益	259	272	272
当期余剰金	147	222	222

## 主要施設投資計画

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
長田支店建設			←→

着工については予定です